

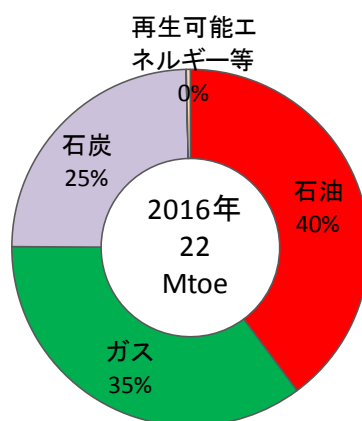
4-11 イスラエル

1. サマリー

1. エネルギー事情

- (1) 一次エネルギー供給量 (2016年) : 22 百万 toe (日本の 0.05 倍)
- (2) 一人当たりの一次エネルギー供給量 (2016年) : 2.63toe (日本の 0.79 倍)
- (3) エネルギー自給率 (2016年) : 37%
- (4) エネルギー起源 CO₂ 排出量 (2015年) : 62.3 百万 CO₂ 換算 ton (日本の 5.5%)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO₂ 排出量 (2015年) : 7.40 CO₂ 換算 ton (日本の 82.2%)
- (6) エネルギー源別可採年数 (2016年) : 原油 na、天然ガス 16.8 年

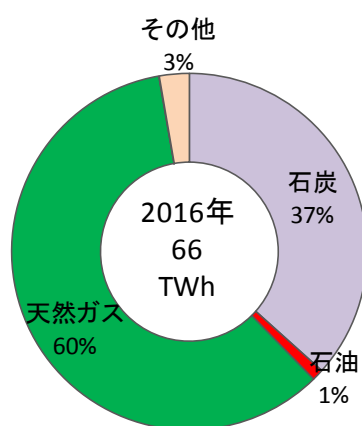
一次エネルギー供給構成 (2016年)



Country: Israel

(出所) World Energy Balances 2017, IEA

発電電力量構成 (2016年)



Country: Israel

(出所) World Energy Balances 2017, IEA

2. エネルギー政策のポイント

(1) エネルギー政策担当機関

- イスラエルのエネルギー政策担当機関は、国家インフラ・エネルギー水資源省 (Ministry of National Infrastructure, Energy, and Water Resources) である。同省の権限は、電力・石油・天然ガス・再生可能エネルギー・水資源を対象とする開発・研究・保護など多岐に亘っている。2017年12月現在の大臣は Yuval Steinitz 氏である。
- この他に、情報・原子力エネルギー省 (Ministry of Intelligence and Atomic Energy) および環境保護省 (Ministry of Environment Protection) がある。前者の大臣は Yisrael Katz 氏 (運輸相を兼任)、後者の大臣は Ze' ev Elkin 氏 (エルサレム相を兼務) である。

(2) 基本政策

- 今後20年で電力消費量は倍増すると予測し、「人口増加」「生活水準の向上」「気候変動への対応」の3つの視点から、確実なエネルギー確保のための対策を図っていくとしている。そのため、エネルギー政策として、石油へのエネルギー依存度を下げ、国内資源である再生可能エネルギーを開発し、エネルギー手段の多様化を実施していくことを目標として挙げている。

(3) 最近の動向

- 2017年2月15日、Netanyahu 首相は米 White House で Trump 新大統領と初の首脳会談を行った。主要な点は以下の3点。
 - パレスチナ問題解決の取組みでは、二国家解決案か一国家解決案かという選択の問題ではなく、より広範な取組が必要
 - 米国大使館の Tel Aviv から Jerusalem への移転は実現したいが、注意深く検討
 - 核兵器保有を含むイランの脅威に対抗するために、制裁強化等より多くの取組みを実行する必要がある
- 2017年4月、パレスチナ自治政府は対立するハマスに Gaza の実効支配を放棄させるため、イスラエル政府に Gaza 地区の電力料金支払い停止を通知した。6月12日、イスラエル政府は送電量の削減を開始したため、約4時間/日の電力供給となっている。
- 2017年6月、エネルギー省は沿岸24地区における石油・天然ガス掘削事業の入札期限を再度延期し、11月中旬としている。

3. 日本とのエネルギー分野における関係

- 両国のエネルギー分野における関係は見当たらない。JETRO 調べによる2015年における両国の貿易額は、イスラエルの対日輸入が11.6億ドル(主に輸送機器)、対日輸出が15.0億ドル(主に電気機器)となっている。また、日銀の国際収支統計における日本企業による投資額は2015年に52億円、2016年に222億円となっている。

2. 主要エネルギー指標

COUNTRY: Israel

(2016年)

(1) 一次エネルギー供給量		22 Mtoe
(2) 一人当たりの一次エネルギー供給		2.63 toe/人
(3) GDP当たりの一次エネルギー供給		0.08 toe/千ドル
(4) エネルギー自給率		37 %
(5) エネルギー起源CO ₂ 排出量 (2015年)		62.3 百万CO ₂ 換算ton
(6) 一人当たりエネルギー起源CO ₂ 排出量 (2015年)		7.40 CO ₂ 換算ton/人
(7) エネルギー源別構成率	石炭	25 %
	石油	40 %
	天然ガス	35 %
	原子力	0 %
	水力	0 %
	再生可能エネルギー等	0 %
(8) エネルギーの輸入依存度		63 %
(9) 石油の輸入依存度		99 %
(10) 輸入原油の中東依存度		NA %
(11) 原油の輸入先	第1位	NA
	第2位	NA
	第3位	NA

(出所) (1)～(4)および(7)～(9) : World Energy Balances 2017, IEA

(5)～(6) : CO₂ Emissions from Fuel Combustion 2017, IEA